No66　平成 29 年夏号

道　南

北海道道南会会報
No66　平成 29 年夏号

発　行　2017 年 8 月 1 日
発行所　北海道道南会事務局
連絡所　茨城県取手市西
1-6-C-907
TEL&FAX　0297-74-7576

故郷・函館

北海道道南会副会長　三村　寿雄

函館の西部、高龍寺より外人墓地を抜け、さらに奥へと進んで行くと、左側の高台に明治18年築のピンク色の洋館風の建物があります。

内務省が日本全国で最初に開港した当時の主要6港（函館・横浜・神戸・長崎・下関・新潟）に建てた消毒所の事務所であった建物です。

ピンク色の下見貼りには軒先きの表面や背面の上げ下げ窓には両開きの鎧戸のある明治時代の典型的な洋風建物です。

明治29年、函館消毒所は函館検疫所と改称され、その後幾多の伝染病と闘って国内への侵入を防いできたそうです。

特に、昭和20年には敗戦により樺太方面からの引揚者の検疫にあたり、多くの患者をこの処置場に収容して治療に貢献したそうです。昭和43年にはこの検疫所は市内海岸町に落成した港湾合同庁舎に移転し、平成9年に小樽検疫所・函館出張所と改称されています。一時は老巧化し、廃墟化していたそうですが、平成18年に改修・再生され、現在は『ティーショップ・夕日』として、煎茶・玉露・抹茶に季節の和菓子が付いたセットが提供され、窓際のテーブル席からは眩しい海を眼下に見下ろすことができます。また、あたりが夕景のオレンジ色に染まる時間を待つのも良し、とにかく観光スポットの喧騒を離れてゆったりとした時間を過ごすことが出来ます。正面玄関の石の階段や白い木の柵、歪みのある窓硝子板、当初からの材料を最大限に活用し再生されています。現在は、『函館市景観形成指定建物』となっているそうです。そして、この検疫所の跡地こそ私が中学・高校と青春真っ只中の貴重な6年間を過ごした所です。

転勤族の父は日本各地を転々としていましたが、私にとって函館が故郷と呼べる地を与えてくれました。

今年の新年総会・懇親会でのアトラクションで暁めぐみさんが歌ってくれた『ふるさとになりたい』。この曲は10年程前にふと耳にし、まさに私自身にせつなさも思い起こさせてくれる歌詞で、カラオケでの持ち歌にもなっています。

故郷のないあなたの
故郷になりたい
ふたりで季節を
かさねて見ませんか
春は　桜の五稜郭
夏は　漁り火　青く揺れ
秋は　色ずく函館山
冬は　粉雪 降り積もる
神様がくれた　贈り物
あなたに
あなたに見せたいのです
来ませんか
来ませんか
私の故郷へ

昨年は、待望の北海道新幹線が開業し、年間560万人を超える観光客が函館を訪れ、前年に比べて大幅に増えたとのこと。嬉しいニュースもありますが、その一方で、今年のイカ漁は不良と残念なニュースも耳にします。函館がこれからも嬉しいニュースを発信してもらえるように『北海道道南会』からも何か発信出来る物を見つけて行きたいものです。

故郷・函館がこれからもますます元気になって行くことを願っています。

函館検疫所跡

函館市便り

函館市長　工藤　壽樹

北海道道南会の皆様におかれましては、日頃から、函館市勢伸展に特段のご支援・ご尽力を賜り、厚く御礼申し上げます。

貴会におかれましては、昭和35年の創立以来、半世紀を超える長きにわたり「ふるさと道南」を心の絆として会員相互の交流と親睦を深め、固い結束のもと、幅広い分野において活発な活動と郷土発展への貢献を続けられ、今日のご隆盛を築かれておりますことは、薬袋会長をはじめ歴代会長、役員、会員の皆様の一方ならぬご努力の賜と存じ、心から敬意を表します。

【北海道新幹線開業後】

さて、昨年3月の北海道新幹線開業後は、函館アリーナなどで全国規模のコンベンションやスポーツ大会の開催や港まつりのディズニーパレード、東北6県のお祭りが集結したグルメサーカスなどの開業記念関連イベント、本市では初のフルマラソン大会、青森県・函館デスティネーションキャンペーンによる誘客効果などにより、関東・東北を中心に多くの方々にお越しいただいたほか、本市初のＬＣＣ定期便が新たに就航し、クルーズ船の寄港数も全道1位となるなど、まちに活気と賑わいが生まれました。

本市は、民間の調査会社による地域ブランド調査において、3年連続で日本一魅力ある都市に選ばれておりますほか、本市の観光パンフレット「函館旅時間」が東京の日本橋にございます「ふるさと情報コーナー」で配布する全国市町村観光パンフレットの人気ランキングで初めて1位となり、多くの方々に手にとってご覧いただいていることをうれしく思います。

このような中、本市の平成28年度の観光入込客数は、前年を大きく上回る66万人増となり、過去最高の約５６０万7千人にのぼりました。外国人観光客数におきましては、タイ、マレーシアなどの東南アジアからの宿泊客数が増加し、これまでで最も多い約40万5千人を数えました。

【ポスト新幹線元年のイベント】

今年度は「ポスト新幹線元年」として、開業効果を一過性のものとすることなく、この流れを持続し、経済の活性化につなげていくため、さらなる交流人口の拡大を図るとともに、将来を見据えたまちづくりを着実に進めていく必要があると考えております。

Ｇスクエア　GLAY レリーフ

新たな集客・交流施設として、昨年10月に函館駅前の旧和光ビル跡地にオープンした「キラリス函館」に続き、本年4月には、本町の旧グルメシティ五稜郭店跡地に「シエスタ函館」がオープンし、商業施設のほか「函館コミュニティプラザ（Ｇスクエア）」という若者の交流の場を設けました。Ｇスクエアには、ＧＬＡＹのメンバーをモチーフとした巨大レリーフ、毎時ＧＬＡＹの曲が流れるからくり時計などを設置し、市民のみならず全国からＧＬＡＹファンの方にお越しいただいております。

恵山つつじ祭り

5月には、恵山地区で60万本ともいわれるエゾヤマツツジやサラサドウダンの花々が咲き誇る「恵山つつじ祭り」が開催され、大食い選手権、スタンプラリーなどが開催されたイベント当日には、約3、８００人の方に来場いただきました。

7月2日に開催された函館マラソンでは、同時開催のハーフマラソンを含め7、０００人近いランナーが、函館山のふもとである西部地区や津軽海峡沿いの

観光スポットを走り抜けました。エイドステーションでは地元ならではのおもてなしとしてミニ海鮮丼や冷やし塩ラーメンなどが提供されました。

【港まつりと冬季のイベント】

8月の函館を代表する夏のイベント「港まつり」には、青函ツインシティ交流事業として「青森ねぶた」が参加するほか、9月には本市最大の食のイベント「はこだてグルメサーカス」の開催など、イベントが盛りだくさんとなっておりますので、北海道道南会の皆様のお越しをお待ち申し上げております。

函館マラソン

冬季のイベントとして、姉妹都市であるカナダのハリファックス市から贈られたモミの木がベイエリアに巨大なクリスマスツリーとして輝く「はこだてクリスマスファンタジー」や歴史的な建物が建ち並ぶ元町地区などがイルミネーションで輝く「はこだてイルミネーション」、函館駅前でいさり火をイメージしたあたたかなフレームと美しい灯りが観光客をお出迎えする「函館駅前広場イルミネーション」などを開催しており、今年はこれらのイベントや冬季のアクティビティ等体験観光メニュー、地元の食などを一体化したPRにも力を入れてまいります。

港まつり青森ねぶた

【今後のまちづくり】

さらに、大門グリーンプラザの再整備や亀田福祉センターや亀田青少年会館、美原児童館などを統合し、新たに市民プラザを整備してまいります。

日吉町4丁目においては、民間活力を活用し、住まいや医療、介護、介護予防、生活支援サービスを一体的に提供する「福祉コミュニティエリア」の整備を本格化させるほか、函館発祥の地である西部地区については、街区内の宅地の統合化や電線の地中化などの坂道の整備を行い、景観に優れた良質な市街地の形成を進めてまいりたいと考えています。

また、JR函館駅裏の若松地区では、12万総トン級のクルーズ船が寄港できるよう、新たに360mの岸壁など平成30年代前半の完成を目指し整備が進められています。

【道内や新幹線沿線地域との連携も推進】

現在、国内外の旅行スタイルや観光ニーズが多様化する中、一つの地域だけで観光客を満足させることはなかなか難しく、観光振興における広域連携の重要性はさらに高まっていくものと考えております。東北新幹線沿線地域との連携、函館・登別・札幌を結ぶ「北海道ドラマティックロード」による交流人口の拡大などにより函館の活性化を図っていきたいと考えています。

函館駅前広場イルミネーション

【おわりに】

今後も本市の持つ「歴史、景観、文化、食」といった多くの恵まれた資源をさらに磨き上げ、住んでいる人も、訪れる人も、だれもがこのまちで過ごす時間を幸せに感じられるまちづくりを進めてまいりますので、皆様方のより一層のお力添えをお願いいたします。

結びに、北海道道南会のさらなるご隆盛と会員の皆様のますますのご健勝、ご活躍を心からお祈り申し上げます。

西部地区のまちなみ

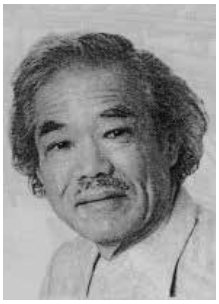
神　彰氏のこと

森本　貞子

新宿花園神社の宮司・片山文彦氏に「是非ご紹介したい方がいらっしゃるのです」とのことで、紹介されたそのお相手が神彰氏であった。

もう30年ほど前のことである。片山氏は医師でありながら宮司として新宿の街の人々の精神的な相談役でもあったせいで花園神社には大勢の著名人も集ってきていたのである。神氏もそのおひとりであった。

「かの有名な有吉佐和子氏のご主人だった神彰氏です。たしか函館のご出身で森本さんとは同じ故里では？」



神　彰氏

「その通りですわ。私も神氏が函館ご出身とはよく知っておりました」

その頃の私は花園神社の機関誌「花その」に「明治の女たち」と題して、ノンフィクション小説を毎号執筆していた。「花その」誌は全国の神社、約8千社に配布されていた。

神氏はおっしゃった。

「あ、森本さんも函館ご出身ですか。毎号花その文章、読んでいますよ」と。

私は「実は私、函館出身で近代地震学の父・英国人ジョン・ミルン夫人となった願乗寺の娘トネのことを執筆した著書がありますのよ」と自己紹介すると、神氏は「その著書なら姉が贈ってくれて読んでいますよ。『女の海峡』とかの題名では？」「『女の海峡』ではなく、『女の海溝』です」と私。

すると神氏は「函館の昔の女性のことがよく画けていて、とても面白かったですよ」と誉めてくださった。

花園神社拝殿

それからひとしきり函館の思い出話を語り合った。函館は坂の多い街だ、とか。新鮮な魚が豊富で魚介類が美味しい、などと。最後に神氏は「実は西武新宿駅近くに『北の家族』という居酒屋を経営しているんです。一度遊びにいらっしゃいませんか。お待ちしています」と誘ってくださった。

数日後、折しも私の主人が京都大学の「防災会議」に出席のための出張であったせいで夕方遅く西武新宿駅近く「北の家族」に。

居酒屋と言うにはかなり広い店内で、その日は大勢の客で満員の盛況。それだけにお酒の香りが店に充満しており、それに煙草の煙ももうもうと立込めている。私はその煙に弱いせいで「よくお出かけくださいました。どうぞどうぞごゆっくり」と喜んで迎えてくださった神氏であったけれど、お茶だけ頂戴して帰らせていただくことになった。神氏は恐縮されてしまい「では私家版の著書がありますから、後でお送りいたしますよ。今日は混み合っていて申し訳ありませんで・・・」と恐縮の極みです。とも語られた。

花園神社

数日後、神氏の手紙と共に送られてきた著書は私家版とのことであったけれどかなり立派な装丁で、添えられた手紙によると、再婚されたお相手の名は仮名とのことで、私は再婚なさったことも知らなかったので、直ぐに読み始めることとなった。

著書の内容は、再婚された奥様とのことがその著書のほとんどにわたっていて、有吉佐和子氏についてはあまり書かれておられなかった。

ただ神氏が再婚することを有吉氏に報告すると「大変怒っていました」と記されている。

再婚のお相手は、かつて郵政大臣をされたことのある方の令嬢とあるだけで名前を秘したい。それで仮名にしてある。とのこと。なぜ有吉氏は怒ってしまわれたのか。私はかつて有吉氏の小説「複合汚染」「三婆」「華岡青洲の妻」などを読んでいただけに、ひとしきり有吉氏についてのことを思い浮かべていた。

有吉氏は作家として活躍する以前、吾妻歌舞伎のマネージャーをなさっておら

れ、東京女子大英文専修科のご出身だけに当時としてはかなり英語に堪能であられたので吾妻歌舞伎の米国公演の際には重宝がられたとのことであった。吾妻徳穂氏が中心だったせいで日本舞踊を主としての公演であったが米国各地で大好評であった。その頃神彰氏もソビエトで大活躍の「ドンコサック合唱団」の日本への招致に成功した、と神氏もまた大評判であった。その頃、お二人はお知り合いになったらしい。その後有吉氏は作家として活躍成功し、有名になりつつあってすでにある茶道御本家の御曹司との結婚を噂されながら、突如神氏と結婚された。世間は誰もが驚いた。

お二人の間には令嬢玉音さんが誕生。その後ほどなく離婚されてしまった。

有吉氏と神氏との過去のことを考えながら頂いた神氏の著書を読み進めるうち、またも驚かねばならなかった。

神氏と再婚されたお相手は数年後、気がつくと「癌（がん）に侵されていた」そうで、その痛みに耐えかねて神氏に

「おとう、おとう、どうにかして・・・」と連日訴え続ける日々だったそうで、その妻を神氏は優しく、いたわる様が克明に記されているのである。神氏の優しさに感動した私はその通りの心情を手紙でのお礼に添えて送った。折しも手元に愛らしい「クリオネ」の写真があったので数枚を添えて。

すると数日後に神氏のお便りが届き「あなたの優しさに感激しました。クリオネの愛らしさにも・・・」

と日本の男性としては心を込めたであろう、優しい文面だった。再婚された奥様への気配りも私は気付いた。日本男性には珍しい神氏のこのような優しさと気配りに女性は魅せられてしまうのだ、と。

ことに作家は著作に際しては孤独である。有吉氏が神氏に一時惹かれたのも、このような神氏の気配りと温情ゆえではなかったのだろうか、と。

同窓会の活動状況

◆第17回つつじケ丘同窓会
東京支部総会・懇親会
（函館西高校同窓会）
5月20日（土）
椿山荘4Fジュピター
参加者　230人

◆関東青雲同窓会
（函館東高
現市立函館高校同窓会）
5月27日（土）
大手町サンケイプラザ
参加者　160人

◆東京東川会第16回同窓会
（函館市立東川小学校同窓会）
6月10日（土）
第一ホテル両国
参加者　66人

◆東京函商同窓会
（北海道函館商業高校同窓会）
7月8日（土）
第一ホテル両国
参加者　123人

◇函館市立幸小学校同窓会
10月28日（土）
銀座アスターベルシーヌ
竹芝店

◇函館工業高等学校同窓会
10月29日（日）
ホテルラングウッド

◇白楊ケ丘同窓会東京支部
第41回親睦大会
（函館中部高校同窓会）
11月18日（土）
ホテルグランドアーク半蔵門

暑中お見舞い申し上げます

朝倉　敏夫　石戸　六男　泉　龍夫
今井　雅子　大畑　徹夫　小山　光
笠川　雅彦　金子　公彦　金子　忠雄
川瀬　俊吉　川守田礼子　神山　茂郎
小島　幸子　小助川昭一　小谷　泰三
小林智恵子　小山　和彦　郷内　繁
酒井　哲美　佐々木俊克　澤井　隆
沢株　尚子　沢株　正始　島田　瑞子
白川　正広　新谷　義克　末永　昌子
菅原　大作　須藤　珠実　高橋　厚子
高橋　順吉　田沼　修二　続　薫
富岡　信夫　豊田　利雄　鳥本　玲子
中村　隆俊　中山　泰誇　長島　康
納代　鉄也　楢木　久澄　新山　春一
沼崎　貞良　沼崎　茂子　濱　光徳
比嘉　裕子　檜森　兄元　福崎　正春
福地　史人　古井　勝春　本間　和吉
松田　州平　松田　昇　薬袋　泰
南谷　光一　三村　寿雄　森本　貞子
山田　克明　山田トミ子　山本　久子

はこだて人物誌　番外編

〝函館の事件簿〟

道南会会員　沢株　正始
幸小学校出身

人物伝というと、当たり前ですが、どうしても有名人ばかりになりがちです。有名であればあるほど、数多くの伝記も書かれています。語り伝えられることが多く、日記や手紙などの資料もたくさんある、という条件に恵まれているから、書きやすいわけです。

何年前だったでしょうか、富士フィルムのテレビ・コマーシャルで、「美しい人は美しく、そうでない人はそれなりに」というセリフが評判を呼んだことがあります。樹木希林と岸本加世子のコンビが絶妙でした。

今回は、「そうでない人」、つまり私たちの周囲にいる普通の人について書いてみたいと思います。普通といいましたが、やはり話題になる特殊な事柄があったわけで、言ってしまえばスキャンダルの趣が強くなるのをご容赦ください。

出典は、郷土誌『はこだて』第八号（一九七七年四月、市立函館博物館友の会発行）に掲載された記事から、興味深い記事を数点抜粋し、要約して紹介します。題して〝函館の事件簿〟

○侍従勅語を携帯のまま遊里へ　勅語盗まれ職務侮辱罪

明治24年12月4日、侍従の片岡利和が明治天皇から下された勅語を千島まで携帯する途中、函館に立ち寄った。さる料亭で有志により侍従の歓迎会が催されたが、宴会にうち興じた侍従はすっかり酔いが回ってしまい、大任を忘れ、畏れ多くも勅語を持ったまま遊郭に向った。

翌朝目覚めて気づき身の回りを探したものの、勅語と現金28円を入れた袋が見つからない。慌てて届出たが、警察は内々に処置することとし、犯人探しもやめ、ある人物を仲介にして金銭と勅語を買い戻すことにした。しかしそのことが雑誌『北海の自由』の発行者・後藤銀次郎の耳に入り、激怒してそれを雑誌に発表した。侍従は職務侮辱罪でとらえられ、重禁固3カ月、罰金10円を申し渡された。

〔今も昔も共通する役人根性。少し抜けた感じのするのが滑稽かも〕

函館山要塞跡

○市民ビクビク　脱獄囚函館で大暴れ

明治25年5月末、無期懲役囚・橋本元平が脱獄して樺太から函館まで逃げてきた。まず曙町の村田さん宅に入り込んで当主に怪我をさせ、続いて末広町から西浜町へまわって鍋墨を塗って強盗を働き、願乗寺前の下宿屋に隠れた。

警察はいったん捕えて栄国橋交番へ同行したが、一寸のすきをついて巡査を交番に押し込め、函館公園のほうへ逃げ、追い打ちをかけたところ函館山へ入り込んでしまった。非常線を張ったが、それをくぐって谷地頭へ下り、浅田屋に入り料理を片っぱしから食い、握り飯を作らせてまた函館山へ戻った。3日後に山背泊から磯舟に乗って上磯にわたり、七飯の熊の湯で一風呂浴びてまた函館に入り込み、恵比寿町の白首屋に上がり込んだ。女将が機転をきかし、酒で酔いつぶしてから交番へ連絡、ようやく逮捕に至った。床下に短刀を隠し持っていたという。

〔痛快なまでの逃避行！　たくさんの地名が出てきて足取りが想像できますね〕

○昔もあったスケバン　不良少女グループ暗躍

大正8年9月ころ。団長格の○○女学校清水某を中心に、活動写真や夜市に群がって、女友達に紹介された男から男へと、娼婦のように安値で春を売る7、8人の少女グループがあった。中には市内有名女学校の生徒もまじっていたようで（『函館日々新聞』）、主に弁天や山の手方面の家庭の子であった。

主な逢引き場所は蓬莱町の郵便局前などで、男を待ってはとりどりに消えていったという。当時の新聞には、不良少年団黒星団をはじめとして、このような事件が多く載っており、中味は不純異性交際と暴力が主で、今ともあまり変わらなかった。

〔今と昔とどちらが、とは言えないようで、気になるのは親心〕

○可愛いい少女　友達の写真を撮って御用

昭和12年8月19日正午ころ、蓬莱町の道路でカメラを持ち歩き、パチリパチリとやっていた大黒町の野村サダ子（16歳）が、パトロール中の巡査に取り調べられた。彼女は撮影許可証を持たずに街路で友達の写真を盛んに撮っていたということで、要塞地帯法違反で書類送検された。

函館山は明治32年から第2次世界大戦終戦まで要塞地帯であったので、とんだ難を被ったというわけである。

〔キナ臭くなってきた時代ということと、要塞があったという特殊事情とが生んだことですが、スマホ全盛の今では考えられませんね〕

中村隆俊顧問が函館市に1億円を寄付

北海道道南会顧問で、戸田中央医科グループの中村隆俊会長は、函館市に対し、「青少年のために役立てて欲しい」として1億円を寄付された。

函館市では、この1億円を活用して「函館市青少年育成基金」を設置し、経済的理由により修学困難な大学生を支援する返済不要の給付型奨学金制度の財源とするとしている。

函館市では、給付条件について、所帯の所得合計が266万円以下で、評定平均が4・3以上で検討している。今年9月に候補者の募集を始め、11月に決定する予定。月額3万円、入学時の一時金として10万円を給付する。年間8人を募集し、うち1人は6年制の医学部等に通う学生を想定しており，平成37年度の入学生まで新規募集する計画で、その後、継続生に対する給付を平成42年度まで行う予定としている。

なお、函館市では、3月21日、中林重雄副市長と子ども未来部子ども企画課の宿村篤由課長が、埼玉県戸田市の戸田市中央総合病院に中村会長を訪ねて感謝状を贈呈しました。

中村隆俊顧問が「第15回渋沢栄一賞」を受賞

埼玉県は、1月10日、優れた経営や地域、社会へ貢献した全国の経営者を表彰する「渋沢栄一賞」に中村隆俊会長ら3氏を決定したと発表しました。

渋沢栄一賞は、多くの企業の設立や育成に携わる一方で、福祉や教育などの社会事業にも尽力した埼玉県深谷市出身の渋沢栄一氏の生き方や功績を顕彰すると共に、今日の企業家のあるべき姿を示すため、渋沢栄一氏の精神を受け継ぐ全国の経営者に賞が贈られている。

今井雅子さん個展

「夏の饗宴」P20号

「春の岳」P3号

函館や北斗市の風景を中心に油彩画の制作活動を精力的に行っている今井雅子さん（北海道道南会会員）が、８月１０日（木）から１５日（火）まで、函館棒二森屋・本館７階特選サロンで４度目の個展を行います。絹下地にプラチナ・金箔を用いて制作。油彩、水彩とガラス絵の他、昭和初期に今井さんの祖父が函館太洋倶楽部の選手だったことから函館との繋がりのパネル展示も。

夏休みに函館行かれる方はぜひおでかけください。

●●● 北海道道南会会員プロフィール ●●●

最近ご入会いただきました
新入会員の皆さまにプロフィールを
ご執筆いただきました。
ご紹介いたします。

天野　久子

昭和13年函館市生まれ。松風小、大谷女子中高卒業、22歳で上京。建設機械メーカーで総務経理を担当。37歳時にサッポロビールの営業補助セールスの仕事を始める。43歳時にオーストラリア大使館管轄のオーストリアワイン促進委員会に転職。55歳、ワインコンサルタント会社に誘われ、ワインマネージメント、ワイン教室の仕事に携わる。65歳ワインインポート会社と契約。店舗で試飲販売と各国ワインの販売及び紹介を平成28年12月まで勤める。道南会にはワインがご縁で福地史人さんの紹介で入会。

三盃　善信

昭和30年函館市深堀町生まれ。万年橋小、大川中、函館商業高校卒業後、大学進学のため上京。第一ホテル入社。第一ホテル新橋、銀座、グアム、浦安、両国で勤務。現在は第一ホテル両国で総支配人として勤務しております。昨年7月より「東京函商同窓会」の幹事長に推薦され、道下会長のご指導のもと、会の発展に寄与できればと第一歩を踏み出したばかりです。道南会には高校の先輩の続常任幹事のご推薦で入会しました。今後とも道南会には積極的に参加したいと思います。末永くよろしくお願いいたします。

澤井　隆

昭和23年函館市生まれ。青柳小学校を卒業し、旭中、西高へ。3年生の時に転校しましたが、その後に上京して現在に至っております。実家が末広町にあり、毎年幾度となく里帰りを続けていましたので、近年の発展を見続けることが出来ました。これからは道南会に入会させて頂きましたので、幼少期からの思い出を大切に会の発展のために尽力したいと思っています。最後に紹介して頂いた宮崎先輩に感謝申し上げます。

ふるさと会だより

「東京厚沢部会」総会・交流会

道南会会長　薬袋　泰

「第18回東京厚沢部会総会・交流会」は、平成29年3月12日（日）東京グリーンパレスで、12時より、75名（会員58名、来賓17名）が出席して盛大に開催されました。

総会では、関桃子会長の挨拶の後、干山事務局長より、事業報告・決算報告等の活動報告がされた。来賓の渋田正己町長からは、北海道新幹線の開業に期待を込めての街づくり、汐留に設置のアンテナショップの拡充等々、農業政策など新しい政策で町の更なる発展を進めたいと挨拶。続いて、鈴木議長様の乾杯のご発声により祝宴に移った。

舞台では地元出身歌手の〝芳晴〟ミニライブin厚沢部、江差追分日本一の地元出身、杉本武志さんの民謡江差追分が披露され会場は盛り上がり、更には、お楽しみビンゴゲームで厚沢部町の特産物等のプレゼント抽選会で会場は更なる盛り上がりを見せ、再会を確かめあって「ふるさと」を皆で合唱し散会した。

「東京かみのくに会」

薬袋　泰

「第20回東京かみのくに会定期総会・懇親会」は平成29年3月25日（土）ホテルパークサイドで11時30分より来賓・会員及び関係者81名が出席して盛大に開催されました。

総会議事は倉谷 久会長より28年度活動報告並びに決算報告があり、特に昨年の総会・懇親会は新幹線を利用してのふるさと上ノ国で開催した事。また、AED（自動体外式除細動器）・緑化推進協力化費、図書券の寄贈報告等の挨拶の後、ご来賓の上ノ国町工藤昇町長より、昨年8月には60年振りの大型台風に見舞われたが災害もなく、また、今年は雪も少なく暮らしやすい冬であったが、防災対策には更にしっかり取り組んで行きたい。また、北海道新幹線開業に関連しての道路の整備、ニシンも少しずつではあるが帰って来ており、農漁業関連等の諸施策について紹介。若者が安心して住める町、暮らせる町を目指して町政に取り組んで行く旨の挨拶がありました。懇親会は、マルサン市山水産市山亮悦社長の乾杯発声により祝宴に移る。会場ではドローンで空撮した故郷の映像が映し出され、町の状況に見入っていた。お楽しみ抽選会で盛り上がり、フラダンス、歌謡ショー、カラオケが演じられ、会場は大変な盛り上がり。また、小学校校歌の合唱、上ノ国音頭を歌い踊り、会場は更に盛り上がりを見せ楽しいひとときを過ごされました。

「東京ふるさと七飯会」総会・懇親会

東京ふるさと七飯会会長　薬袋　泰

平成29年「東京ふるさと七飯会」の第28回定期総会・懇親会は4月1日（土）正午、上野公園の創作中国料理「旦妃楼飯店」で開催されました。22名の会員と来賓4名が出席されました。ご来賓として、ふる里七飯町から中宮安一町長様が出席され郷里の現況等を報告され、特に、昨年の北海道新幹線の開業に伴い、大沼公園他の観光地に関東、北陸、東北など国内の観光客が大幅に増え、地元商工会は活況を呈しており、町の観光産業の振興や地域経済の活性化等々に喜ばしい経済効果をもたらしており、計画中の「道の駅」も今年度中には開設が見込まれている。七飯町は今年町制施行60周年の記念すべき年であり、秋には記念式典を行うと報告されました。

また、ご来賓の北海道道南会副会長三村寿雄様、東京大沼会代表山崎 智様のご挨拶の後、川瀬俊吉幹事の乾杯により祝宴に移る。昨年に引き続きご出席のサッポロビール栗原史様の紹介があり、ふるさとのワイン、サッポロビールで喉を潤し、和気あいあいの語らいとカラオケで、楽しいひとときを過ごし、みんなで「ふるさと」等々を合唱。ふるさと七飯町を想い、故郷の懐かしいお土産を手に次回の再会を誓い、散会されました。

「東京奥尻島人会」総会・懇親会

道南会会長　薬袋　泰

「第44回東京奥尻島人会総会&陽春懇親会」は、平成29年4月22日（土）コートヤード マリオット銀座東武ホテル「宴会場 瀧田」で、12時より、97名（会員69名、来賓・特別会員28名）が出席して盛大に開催されました。

総会では、和田穂積会長より、第2回桧山植樹祭への参加、奥尻町制50周年式典と室津祭に参加、池袋サンシャインシティ文化会館で開催のアイランダー2016での奥尻町への協力等の報告がなされ、新村町長から新造船の就航、医療関連設備の拡充、観光産業の充実、漁業関係の整備、農業、特にアスパラガス生産の増強、新種ワインの拡大等々一次産業の拡充等、町の近況報告、ご来賓の方の祝辞が続き、麓議長の乾杯のご発声により祝宴に移った。

奥尻島のPR映像が映し出される中、特産品の販売が行われた。舞台では、盛田相談役、西浦ハートランドフェリー（株）営業開発本部長、岡村元奥尻島

基地分屯司令様のスピーチ、民謡歌手鎌田英一さんの江差追分等々の民謡が披露され会場は盛り上がり、更には、奥尻珍味プレゼント抽選会で会場は更なる盛り上がりを見せ、再会を確かめあって散会した。

東京奥尻島人会では、昨年に引き続き、今年も池袋サンシャイン文化会館で開催の全国離島フエア〝アイランダー2017〟で島人会役員、会員が全面的に協力し物産販売に参加する。7月の奥尻島室津祭りのツアー募集すると報告されました。

「第15回東京大沼会」

道南会会長　薬袋　泰

平成29年「東京大沼会」の第15回懇親会は6月24日（土）正午より、上野公園の創作中国料理「旦妃楼飯店」で開催されました。49名の会員と来賓3名が出席されました。

ご来賓として、ふる里七飯町から中宮安一町長様が出席され郷里の現況等を報告され、特に、昨年の北海道新幹線の開業後は、予想を上回る乗車率で推移し、大沼公園他の観光地に関東、北陸、東北など国内の観光客が増え、加えて特に今年は冬の大沼を楽しむ外国からの観光客が増えたことが特徴的であり、地元商工会は活況を呈しております。町の観光産業の振興や地域経済の活性化等々に喜ばしい経済効果をもたらしており、計画中の「道の駅」も近々工事に着工し今年度中には開業が見込まれている。

特に本年度は町制施行60周年、アメリカコンコード町との姉妹都市提携20周年、及びガルトネルから始まる西洋式農業発祥150周年という節目の年を迎えますので、記念行事を通して、町民の皆様と共お祝いをして参ります。記念式典は、11月3日を予定しております。

続いて、来賓の東京ふるさと七飯会薬袋会長の挨拶の後、西角繁雄様の乾杯により祝宴に移る。ふるさとのはこだてワイン、サッポロビールで喉を潤し、和気あいあいの語らいが続き、楽しいひとときを過ごし、みんなで大沼中学の校歌、「ふるさと」等々を合唱。ふるさと七飯町を想い、故郷の懐かしいお土産を手に次回の再会を誓い、散会されました。

平成二十九年度北海道道南会 新年総会・懇親会

今年の北海道道南会新年総会・懇親会は、2月4日（土）12時30分より、東京・荒川区東日暮里のホテルラングウッド・飛翔の間で、来賓・会員・ゲスト123人が出席して行われました。

会は、島田瑞子副会長の司会で始められ、最初に11月に相次いで亡くなられた二上達也、能味寿哉両顧問に全員で黙祷を捧げました。次いで、薬袋泰会長を議長に選出して総会が行われ、28年度事業報告と29年度事業計画（案）を三村寿雄副会長が、28年度決算報告を薬袋会長が報告。また、28年度監査報告結果を新山春一会計監査が報告。それぞれ原案通り承認されました。この後、任期満了に伴う役員改選が行われ、現行役員が全員留任した他、新たに新任の顧問として石戸六男さんが、新常任幹事として本間和吉さんが推薦されて承認され、就任の挨拶を行いました。

そして、この日初めて参加された4人の新入会員が紹介され、それぞれ出身小学校を含めて一言ずつ挨拶していただき、会場の皆さんから歓迎の大きな拍手を受け、総会を終了しました。

続いて、懇親会に移り、来賓として出席された片岡格函館市副市長を始め8人を紹介しました。来賓を代表して、片岡副市長が「昨年3月26日、第二の開港とも言うべき北海道新幹線が開業した。開業記念のイベントとして行った函館グルメサーカスには、東北地方や関東地区などから多くの観光客が来函されたほか、函館アリーナでは全国規模の会議などが行われて参加者も多い。その一方で、市内人口の流出が多く、少子化とも相まって今後の対策が課題になっている。また、市内整備などを行ってポスト新幹線へ向けての事業を展開している。なお、〝ふるさと納税〟で函館を応援していただきたい」と函館の現状などを報告した。

次いで、北海道ふるさと会連合会の高橋照美会長が「道南会の一層の発展とご参加の皆さんのご健勝を祈念して」と乾杯の音頭を取り、開宴しました。

会場内には、函館市と七飯町大沼の観光ポスターが多数貼られて雰囲気を盛り上げていました。会場内の各所からは懐かしい函館弁での会話が交わされていました。

函館の古い写真を収集し発表している野戸崇治さんが、明治16年の函館の大きなパノラマ写真を披露していました。

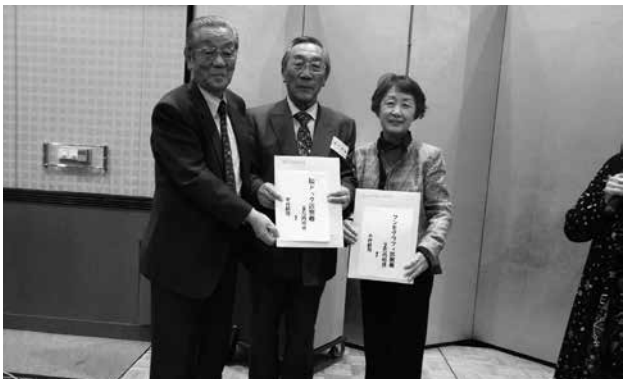
今年のアトラクションは、向島で現役の芸者さんで置屋を経営されている安保咲子さんが優雅な踊りを披露して、皆さんから大きな拍手を受けていました。続いて、テレビなどで活躍されている函館出身の歌手・暁月めぐみさんが函館の応援ソング「ふるさとになりたい」を熱唱。皆さんから盛んな声援を受けていました。

恒例の景品抽選会では、函館市や函館コンベンション協会などから寄贈された数々の品物が当たるたびに各テーブルから歓声が上がっていました。

そして、函館の応援歌として〝青春時代〟の替え歌「函館時代」を全員で合唱、一層盛り上りました。また、高橋順吉さんと川瀬俊吉幹事が音頭を取って、北海道道南会へのエールを送りました。

最後に、三村副会長が、閉会の言葉と一本締めを行って、午後2時40分過ぎに次回の再会を約束して終了しました。

この日のご参加の皆さんには、お土産として〝函館塩ラーメン〟と函館市や大沼の観光パンフレットなどが配られました。



新入会員紹介

（　）内は出身小学校

◆天野久子（函館市立松風小）
福地史人幹事の紹介。

◆三盃善信（函館市立万年橋小）
道下佳祐さんの紹介。

◆福田幸一（七飯町立桔梗小）
薬袋泰会長の紹介。

◆脇田美幸（函館市立駒場小）
末永昌子さんの紹介。

平成29年度新年総会懇親会出席者

【来賓】

※函館市副市長　片岡　格
※函館市観光部観光企画課長　本吉　孝年
※北海道東京事務所副所長　近藤　裕司
※北海道ふるさと会連合会長　高橋　照美
※関西函館をおもう会長　小林　正孝
※東京北斗会長　佐藤　金也
※東京かみのくに会長　倉谷　久
※サッポロビール（株）営業本部法人営業部シニアマネージャー　栗原　史

【参加者】

青木登喜、朝倉敏夫、浅田和幸、天野久子、安保咲子、石戸六男、泉龍夫、伊関直美、井上千春、井上善子、今井雅子、岡本信三、小川アイ子、沖山雅子、奥野政博、小山光、角田素子、笠川雅彦、勝木重蔵、金柿陽子、金子公彦、金子忠雄、金田葉子、川瀬俊吉、川守田礼子、菊池紀邦、工藤正昭、小板鉄雄、郷内繁、小助川昭一、小林智恵子、小山和彦、酒井哲美、坂本保子、佐々木俊克、佐藤昇、佐藤雅英、沢株尚子、沢株正始、三盃善信、汐谷進、柴崎貴子、柴田孝、島田瑞子、白川正広、新谷義克、新谷和子、神れい子、末永昌子、菅原大作、杉澤順一、須藤珠実、砂山和義、千住照平、高橋厚子、高橋順吉、千歳芳光、土橋道子、敦澤義彦、寺田耕治、富岡信夫、鳥本玲子、中川和彦、中島京子、長島康、納代鉄也、中村崇、中山泰誇、成田きよえ、新山春一、沼崎貞良、沼崎茂子、根来美和子、野口晴雄、野戸崇治、花巻省三、濱光則、原ヒエ子、比嘉裕子、福崎正春、福田幸一、福地史人、古井勝春、本間作喜、本間和吉、松田州平、松田昇、松村茂、三浦一志、水木昭弘、道下佳拓、薬袋泰、南谷光一、三村寿雄、向山慶宗則、森英爾、八鍬武、八鍬優子、柳下五百子、安田康次、安原秀樹、山田克明、山田トミ子、山手章、山本久子、横井透、吉野俊郎、吉本有佑、脇田美幸、渡邉一郎、渡部良孝

【ゲスト】 暁月めぐみ

平成29年・30年度役員

会長　薬袋　泰
名誉会長　室谷　邦雄
副会長　島田　瑞子
　　三村　寿雄
会計監査　新山　春一
常任幹事　菅原　大作・川守田礼子
　　山田　克明・須藤　珠実
　　続薫・本間和吉（新任）
幹事　古井勝春・比嘉裕子
　　泉　龍夫・川瀬俊吉
　　高橋厚子・富岡信夫
　　檜森兄元・福地史人
　　篠崎昭彦・松田　昇
　　中村隆俊・丹野康男
　　新谷義克・郷内　繁
　　朝倉敏夫・沢株正始
　　南谷光一
　　石戸六男（新任）
顧問　田沼修二・沼崎貞良
相談役

訃報

三浦健蔵さん
平成29年2月2日　死去
86歳
謹んでご冥福をお祈りします。

平成28年度収支報告書（自平成28年1月1日至28年12月31日）北海道道南会

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
前期繰越高	230,385	行事費	2,057,572
年会費	531,000	通信費	204,379
行事会費	2,210,000	印刷費	306,315
寄付金	210,500	消耗品費	58,758
広告協賛金	130,000	交通費	179,330
雑収入	52,780	会議費	39,710
受取利息	18	会費	10,000
前受金	87,000	交際費	180,361
		支払手数料	25,286
		前受金	108,000
		次期繰越高	281,972
合計	3,451,683	合計	3,451,683

次期繰越金内訳

現金	￥62,623
普通預金	￥144,149
振替口座	￥75,200
合計	￥281,972

監査報告書

平成２８年度決算報告書について、帳簿及び証憑書類を監査した結果、適正かつ妥当に処理されていることを認めます。

平成29年1月27日

北海道道南会
会計監査　新山春一

道南会行事報告

☆両国・花の舞で忘年会

12月10日（土）午後3時より、「花の舞・江戸東京博物館前店」で、会員やご家族・友人など41人が参加して、少し早めの忘年会が行われました。

会では、最初に薬袋泰会長が、「今年一年を振り返りながら、楽しい一時を過ごしましょう。皆さんのご健勝を祈って」と乾杯の音頭を取って始められました。鍋料理と刺身などのコース料理を楽しみながら、和気あいあいの雰囲気の中、歓談が進められました。

午後4時10分過ぎ、江戸情緒豊かな舞台に、寄席で「唄と三味線とお喋り」のパフォーマンスで人気の〝春風亭美由紀師匠〟が登場。軽妙なお喋りと三味線に乗った唄を披露して大きな拍手を受けていました。

この後、新入会員として参加された三盃喜信さんと澤井隆さん、三浦幸平さんを紹介し、一言ずつ自己紹介をしていただきました。

☆29年度新年総会・懇親会（別掲）
2月4日（土）午後0時開催
荒川区東日暮里
ホテルラングウッド

☆飛鳥山公園でお花見

今年最初の道南会行事は、3月25日（土）に北区の飛鳥山公園でのお花見を、会員やご友人など19人が参加して行われました。午前11時30分にJR・王子駅南口の改札口に集合。駅から歩いて3分程の公園広場に到着。広場では桜の木の近くに大きなシートを広げて、車座になって皆さんが持ち寄ったお料理や飲み物で少し早いお花見を楽しみました。東京には、3月21日に開花宣言されてはおりましたが、この日の桜は堅いつぼみが見られるだけで、満開にはほど遠く、花見と言うより、もっぱら会話に花が咲いていました。話題の中心は、やはりふるさと・函館のこと。開業一周年を迎えた北海道新幹線でのふるさと訪問旅行や昔の函館で見た映画のこと。さらに、最近の北海道産のお米が美味しくなって全国レベルになったこと。昔はお米が不味くて、本州産のいわゆる〝内地米〟が青函連絡船で運ばれていたことなどを話していました。

☆神代植物公園の散策

梅雨の晴れ間をぬっての道南会行事は、6月17日（土）に、17人が参加して、東京・調布市の東京都立神代植物公園を訪れて、皆さんと一緒に一時を楽しみました。特に今回は、鈴木栄子さんのご主人とお嬢さんお二人、お孫さんの6人が参加され、大変賑やかでした。

この日は、梅雨の最中とは思えないほどの好天に恵まれ、日差しは強すぎるほどでした。午前11時30分に神代植物公園の入り口に集合。公園内では、〝ばら園〟近くのテラスに席を確保して、皆さんで持ち寄ったお料理やお弁当、飲み物などで会話を楽しみました。話題の中心は、大相撲・新横綱の稀勢の里や高安のこと、夏休みの予定などでした。皆さんは普段から新幹線や航空機で函館に帰られている方も多く、その時々のエピソードなどを紹介していただきました。

都立神代植物公園は、昭和36年に開園。およそ49万㎡の広い園内には、一年中四季を通して数々の花々が咲き誇り、ことにばら園や大きな温室の熱帯植物などが有名です。また、植物公園に隣接する深大寺には、今年新たに国宝に指定された「釈迦如来伎像」が安置されています。

編集後記

◎関東地方に梅雨明け宣言が出ないまま、真夏の猛暑が到来し、連日30℃以上の日が続きました。暑さにいつまでも慣れない北海道生まれにとってかなり厳しい状況です。

◎一方、九州北部では、積乱雲が連続して発生し、局地的に大雨の被害をもたらす「扇状降水帯」により、多数の死者と山崩れや河川の氾濫などの大きな被害が出ました。さらに、東北地方や北海道の一部地区でも大雨の被害が出ているようです。

◎昨年は、三つの台風が連続して北海道を直撃して農作物に大きな被害が出ました。ことにジャガイモの被害が大きく、ポテトチップスが一部販売中止になりました。

◎今年の天候はどうなるのでしょうか？地球温暖化の影響で、気候変動が大きく、起こりうる災害もこれまで経験したことのない規模で起こるようです。災害を事前に防止することは容易ではありません。日頃から防災意識を持ちたいものです。

会報「道南」
29年・夏号・通巻66号
発　行　平成29年8月1日
発行所　北海道道南会事務局
茨城県取手市西
1-6-C-907
薬袋　気付
印刷所　富士製版印刷㈱
世田谷区下馬4-17-17